

# SynchRoid 11.3.0.3について

# アジェンダ

- **11.3.0.3について**
- 11.3.0.3への移行と顧客への影響
- 11.3.0.3の既知の事象について

# 11.3.0.3について

**11.3.0.3は、一部不具合を修正したバージョンとなります。**  
**その他の機能については11.3.0.2から変更はありません。**  
**11.3.0.3にて修正されている不具合は下記の通りです。**

対象	解決した事象	発生バージョン
1 Kapplets	Kappletsではロボット実行後にキャンセルボタンが存在しますが、キャンセルボタン押下すると、Kappletsの画面上ではロボットが正常に停止したように見えているにもかかわらず、実際にはロボットは停止していません。 そのため、Kappletsで実行したロボットを停止する場合は、MC側にて停止する必要があります。 ナレッジ： <a href="https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/4402768356365">https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/4402768356365</a>	11.1.0.4以降
2 Kapplets	Kappletsのスケジュールで実行に失敗した場合に「スケジュールを一時停止」または「スケジュールを停止」を設定している場合でも、ロボット実行失敗後、スケジュールは一時停止、または停止されません。 ナレッジ： <a href="https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/12323723931161">https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/12323723931161</a> ※11.3.0.3では、実行に失敗した場合に設定できるのは「スケジュールを一時停止」のみとなりました。	11.3.0.2
3 Kapplets	履歴のTablePageを表示する際、テンプレートでフィールドラベルに2バイト文字を設定した場合、TablePageに表示されるフィールド名は一文字ずつ改行されます。 英語表記のフィールド名は正常に表示されます。 ナレッジ： <a href="https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/12681265927833">https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/12681265927833</a>	11.3.0.2

# アジェンダ

- 11.3.0.3について
- 11.3.0.3への移行と顧客への影響**
- 11.3.0.3の既知の事象について

# バージョンアップ時のロボットへの影響 (1/6)

v11.3.0.3にバージョンアップする場合、下位バージョンで作成したロボットへの影響が判明している事象は下記の通りです。

各事象の詳細については、次頁以降を参照ください。

※検証内容は、スキルトレーニングでよく利用されるステップを対象としています。

項番	移行元バージョン	v11.3.0.3にバージョンアップ時の事象	対応方法
1	v10.3.0.2 v10.3.0.7 v10.4.0.4 v10.7.0.9	読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行った際に、「Set Current Window」ステップのウィンドウ名称がv11.3では「View」と表示されます。v10.3.xからv10.7.xの日本語版DSでは「表示」となっているため、対象のバージョンのロボットをv11.3.0.3に移行した場合エラーとなります。	移行元または、移行先バージョンで、読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行う場合は、ウィンドウ名のリストの「表示」を「View」に変更します。
2	v10.3.0.2	DS内で新規Excelを開くとシート名が“シート”で指定しているためエラーとなります。	ファインダーでExcelのシート名に「シート」を設定している場合は、「sheet」に変更します。
3	v10.3.0.2	「Set Current Window」ステップにてウィンドウ設定に「名前がありません」が指定されているためエラーとなります。	「Set Current Window」ステップにてウィンドウ設定に「名前がありません」を設定している場合は、「Unnamed」に変更します。

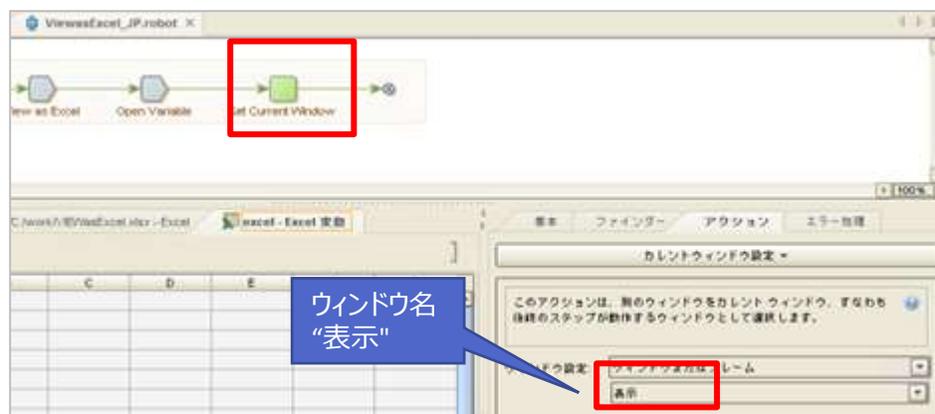
# バージョンアップ時のロボットへの影響 (2/6)

項番	移行元バージョン	v11.3.0.3にバージョンアップ時の事象	対応方法
4	v10.3.0.2 v10.3.0.7 v10.4.0.4 v10.7.0.9	v11.3ではDSのロボットの設定 > 基本タブのデフォルトオプションの設定において「SSL証明書を検証」にデフォルトでチェックがオンの状態となります。 このチェックがオンの場合は、「ターゲット抽出(Extract target)」、「REST Webサービス呼出(Call REST Web Service)」、「SOAP Webサービス呼出(Call SOAP Web Service)」のステップをロボットで実行した時に、エラーが発生する場合があります。	下記どちらかの対応でエラーが回避できます。 ・クライアントにクライアント証明書をインストールします。 ・ロボット設定の「SSL証明書を検証」のチェックをオフに変更します。

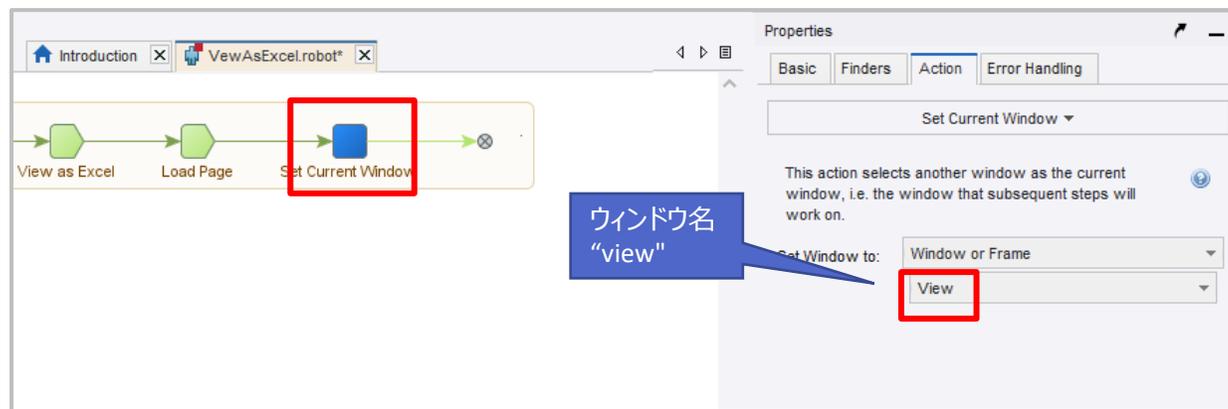
# バージョンアップ時のロボットへの影響 (3/6)

項番	件名	詳細
1	View As Excelに対して行った「Set Current Window」(カレントウィンドウ設定) ステップにてエラー	読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行った際に、ウィンドウ名称はv10.3.xからv10.7.xの日本語版DSでは「表示」となりますが、v11.3では「View」となり異なるため、ロボットを実行するとエラーになります。

## v10.3.x ~ v10.7.x



## v11.3.0.3

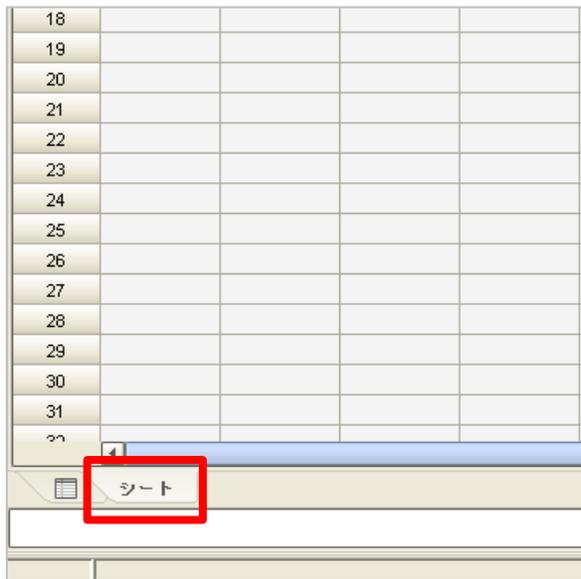


**対応方法** ウィンドウ名のリストから「表示」を「View」に変更します。

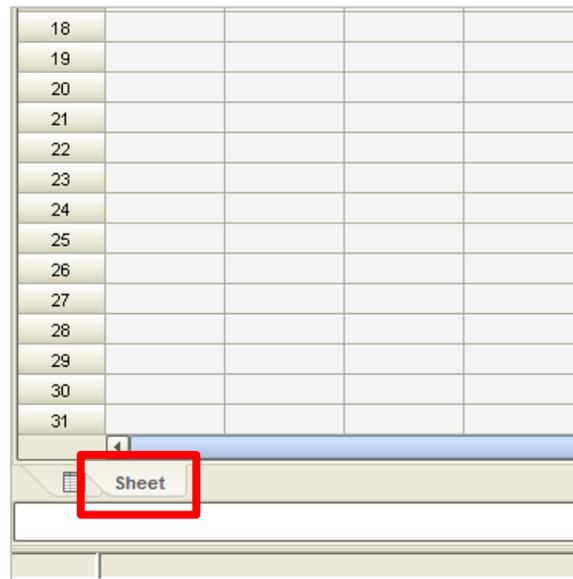
# バージョンアップ時のロボットへの影響 (4/6)

項番	件名	詳細
2	セルのコンテンツ設定(Set Content of Cell)ステップにてエラー	v10.3.0.2のDS内で新規Excelを開くとシート名が“シート”となりますが、v10.3.0.7以降のバージョンはシート名が“Sheet”となり異なるため、ロボットを実行すると設定先のシートが特定できずエラーとなります。

**v10.3.0.2**



**v10.3.0.7以降**

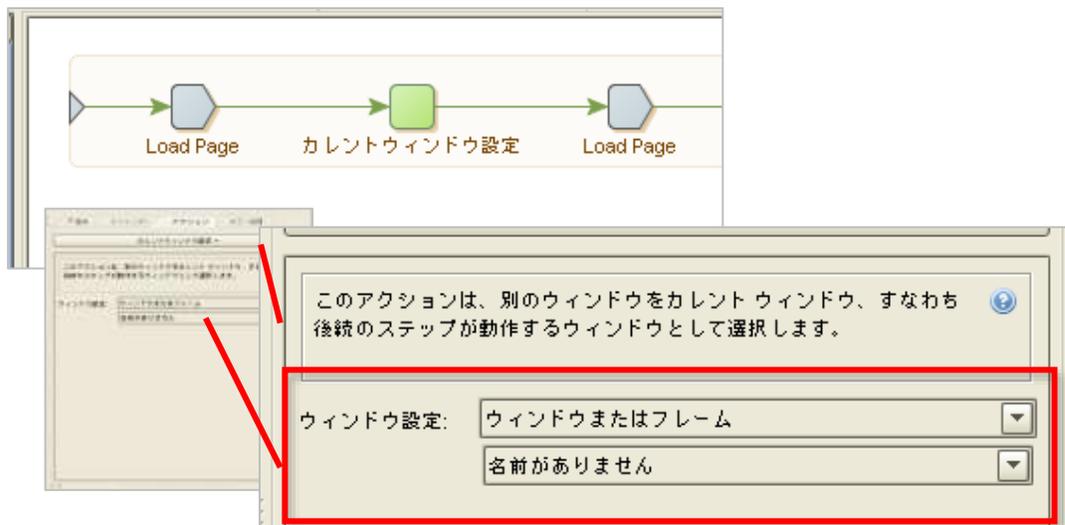


対応方法	ファインダーに設定しているシート名を“Sheet”に変更します。
------	----------------------------------

# バージョンアップ時のロボットへの影響 (5/6)

項番	件名	詳細
3	カレントウィンドウ設定(Set Current Window)ステップにてエラー	Load Page アクションの前段に Set Current Window アクションが自動で生成されます。v10.3.0.2ではウィンドウ設定に「名前がありません」が設定されますが、v10.3.0.7以降のバージョンでは「Unnamed」と設定され異なるため、ロボット実行するとエラーとなります。

## v10.3.0.2



## v10.3.0.7以降



**対応方法** カレントウィンドウ設定のウィンドウ設定を“名前がありません”を正しいウィンドウ名に変更します。

# バージョンアップ時のロボットへの影響 (6/6)

項番	件名	詳細
4	ターゲット抽出(Extract target)、REST Webサービス呼出(Call REST Web Service)、SOAP Webサービス呼出(Call SOAP Web Service)ステップにてエラー	DSのロボットの設定 > 基本タブのデフォルトオプションの設定において「SSL証明書を検証」がデフォルトでチェックがオンになっています。このチェックがオンの場合は、クライアント側にインストールされているクライアント証明書を使用してサーバと認証が行われます。そのためクライアントに証明書がインストールされていない場合エラーとなることがあります。

## v11.3.0.3



対応方法	DSにクライアント証明書のインストール、もしくはロボットの設定「SSL証明書を検証」のチェックをオフに変更します。
------	---

# アジェンダ

- 11.3.0.3について
- 11.3.0.3への移行と顧客への影響
- 11.3.0.3の既知の事象について**

## 未解消事象があるものの、回避策適用によりの影響は軽微

	対象	事象	影響度	解消	回避策
1	MC	ログビューのフィルター設定に時間を設定することができません。	中	未決	無し
2	MC	リポジトリ > デバイスマッピングで、名前に全角数字は利用できません。 ただし、移行元バックアップファイルにデバイスマッピング名称に全角数字が含まれている場合は、v11.3.0.3で復元して継続して利用できます。	小	未決	無し
3	MC	過去に作成したスケジュールを編集する場合、開始日付を現在日付以降を設定しないと、OKボタンを押せません。	小	未決	有り
4	MC	リポジトリ > タイプにてフィルタに2バイト文字を設定した後に、更新ボタンを押下すると「表示するデータがありません」と表示されます。 また、フィルタに2バイト文字を設定した状態で別のタブに移動後にタイプに戻った場合、フィルタに設定していた値が文字化けします。正常な状態に戻すには、フィルタをクリアしてください。 スニペット、デバイスマッピング、データベースマッピングでも同事象が発生します。	小	未決	有り

## 未解消事象があるものの、回避策適用によりの影響は軽微

対象	事象	影響度	解消	回避策
5 Kapplets	ライセンスの上限ユーザー数を超えるユーザー数があるバックアップデータをKappletsで復元する場合、スーパーユーザー（管理者）でもユーザー数制限のためKappletsにログインできなくなります。 今後、移行時にはKappletsのユーザー数制限のないライセンスが発行される予定です。 v10.xからのバージョンアップのお客様についてはライセンスの切り替えが必要となります。	中	未決	有り
6 Kapplets	Kappletsのユーザー画面で無効にしたユーザーでも、Kappletsにログインできます。 ユーザーをログイン不可にする場合は、MC側でのユーザーの削除もしくは権限の制限での対処が必要です。	中	未決	有り
7 Kapplets	Kappletsの言語設定画面の「すべての設定をリセット」ボタンを押下すると、ログアウトメニューが機能しなくなります。 「すべての設定をリセット」ボタンを押下した場合は、一度ブラウザを閉じてKappletsを終了してください。再度ログインすることで復旧します。	小	未決	有り
8 Kapplets	Kappletsに登録していたスケジュールが参照できずエラーが表示される場合があります。 エラーは登録したスケジュールが下記の状態の場合に発生します。 ・スケジュールが一時停止状態で「スケジュールされた最後の日」を設定しており、「スケジュールされた最後の日」を過ぎた場合 ・スケジュールの新規作成で、「スケジュールされた最初の日」と「スケジュールされた最後の日」とともに、現在の日付より過去日で設定した場合 ※最新情報については、RPAT社のナレッジポータルにて公開予定となっておりますのでご確認ください。	中	未決	有り

# v11.3.0.3の既知の事象 (1/11)

項番1 : ログビューのフィルター設定に時間を設定することができません。

例 : v10.7.0.4

ログビュー

ログを選択

スケジュール実行

エラー > [ ]

スケジュール名 次を含む [ ]

実行 ID > [ ]

プロジェクト名 すべて [ ]

開始 開始: 2020-11-24 00:00:00.000 [ ]

終了: 2020-11-25 23:59:59.000 [ ]

停止 開始: [ ]

終了: [ ]

MC サーバー 次を含む [ ]

警告 > [ ]

ページごとの結果: 40 [ ]

列を増やす リセット 更新

v10.7.0.4では時間の指定が可能

例 : v11.3.0.3

列フィルタ

エラー [ ] [ ]

実行 ID [ ] [ ]

開始 開始: 2020/11/23 [ ]

終了: 2020/11/25 [ ]

停止 開始: [ ]

終了: [ ]

MC サーバー [ ] [ ]

キュー時間 [ ] [ ]

合計時間 [ ] [ ]

警告 [ ] [ ]

情報 [ ] [ ]

スケジュール ID [ ] [ ]

結果 [ ]

キャンセル OK

v11.3.0.3では時間の指定は不可

# v11.3.0.3の既知の事象 (2/11)

項番2 : MC リポジトリ > デバイスマッピングで名前に全角数字は利用できません。

The screenshot shows the KOFAX RPA Management Console interface. A modal dialog titled "デバイスマッピングの追加" (Add Device Mapping) is open. The "名前\*" (Name) field contains "test0 1" and the "ラベル\*" (Label) field contains "test". A red box highlights the "名前\*" field, and a yellow callout bubble points to it with the text "全角数字を含む名前は設定不可" (Names containing full-width numbers cannot be set). Below the fields, a red-bordered box contains the error message: "デバイスマッピング名には、文字、数字、またはアンダースコアのみを使用してください" (Device mapping names can only use letters, numbers, or underscores). The background shows a table of existing device mappings with columns for name and label.

名前	ラベル
DA	rs10704
rb	rs10704
DA1	Label1

# v11.3.0.3の既知の事象 (3/11)

項番3：過去作成したスケジュールを編集する場合、  
開始日付を現在日付以降を設定しないとOKボタンは押せません。

The screenshot shows a web form for editing a scheduled job. The form has several fields: 'スケジュール名\*' (DS\_90秒待機するロボット), 'アクティブ' (unchecked), 'シンプル' (checked), 'cron' (unchecked), '繰り返し間隔\*' (1分), '開始時間 (ローカル時間)\*' (12:30), '日付を選択\*' (2022/8/3), 'ジョブの優先順位\*' (中), 'ジョブのタイムアウト\*' (10分), '前処理ロボット', and '後処理ロボット'. At the bottom, there are 'キャンセル' and 'OK' buttons. A red box highlights the date field, and another red box highlights the 'OK' button. A yellow callout bubble points to the date field with the text 'スケジュールの編集を行う場合、日付が過去日になっていると保存ができない'. Another yellow callout bubble points to the 'OK' button with the text 'OKボタンは非活性のまま'.

スケジュールの編集を行う場合、日付が過去日になっていると保存ができない

OKボタンは非活性のまま

# v11.3.0.3の既知の事象 (4/11)

項番4 : MC リポジトリ > タイプにてフィルタに2バイト文字を設定した後に、更新ボタンを押下すると「表示するデータがありません」と表示されます。

スニペット、デバイスマッピング、データベースマッピングでも同事象が発生します。

更新ボタンを押下

フィルタ「日付」に該当するタイプが表示される

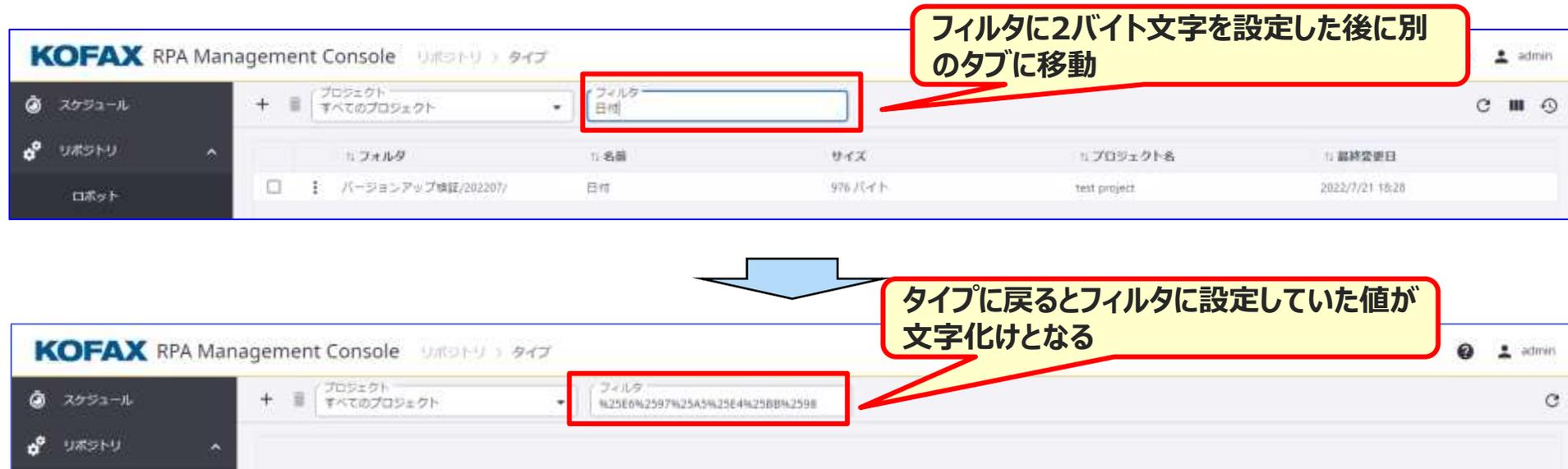
フォルダ	名前	サイズ	プロジェクト名	最終変更日
バージョンアップ検証/202207/	日付	976 バイト	test project	2022/7/21 16:28

対象データが表示されない

表示するデータがありません

# v11.3.0.3の既知の事象 (5/11)

項番4：フィルタに2バイト文字を設定した状態で別のタブに移動後タイプに戻った場合、フィルタに設定していた値は文字化けします。  
スニペット、デバイスマッピング、データベースマッピングでも同事象が発生します。



## v11.3.0.3の既知の事象 (6/11)

項番5 : Kappletsでは、ライセンスのユーザ数を超えて作成されたユーザはログインできません。

Kappletsのユーザ数制限のないライセンスが発行される予定です。

v10.xからのバージョンアップのお客様についてはライセンスの切り替えが必要になります。

The screenshot shows the login interface for KOFAX RPA Kapplets. At the top left, the logo 'KOFAX RPA Kapplets' is visible. The main content area contains a login form with the following elements:

- An error message in a red-bordered box: 「ライセンスで許容されている一筆のユーザー数の上限に達しました。管理者に連絡してください。」
- The text 「ログインしてください」
- Input fields for 「ユーザー名」 and 「パスワード」.
- A blue 「ログイン」 button.

A yellow callout box with a red border points to the error message, containing the text: 「ユーザ数の制限を超えている場合、エラーとなりログイン不可」.

At the bottom center, the text reads: 「Powered by Kofax RPA™ Kapplets 11.3.0.4.48」.

# v11.3.0.3の既知の事象 (7/11)

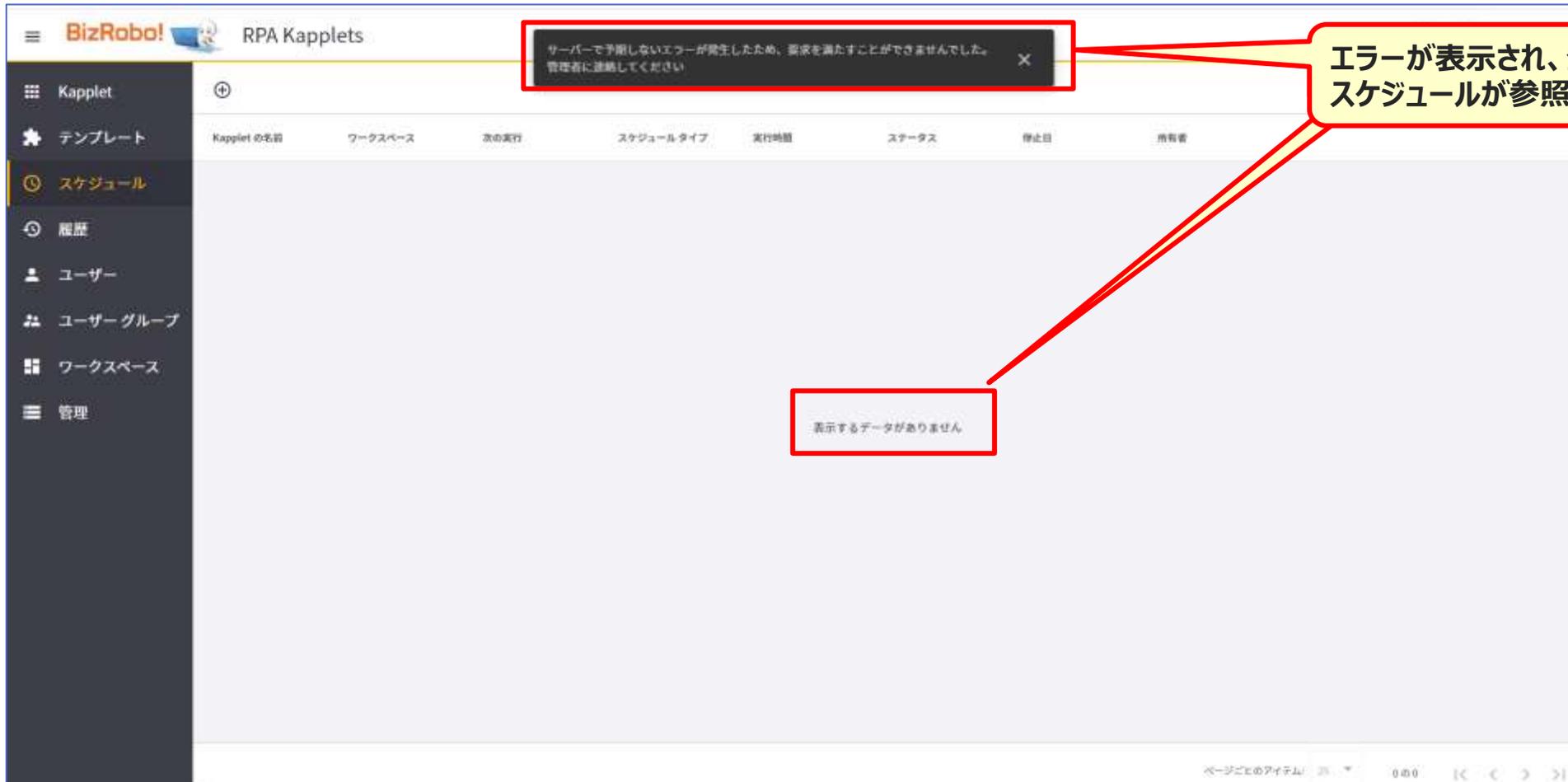
項番6 : Kappletsのユーザー画面で無効にしたユーザーでもKappletsにログインできます。

有効	フルネーム	ユーザー名 ↑	電子メール	タイプ	グループ	権限
🔴	-	-	-	Management Console		管理者
🔴	-	-	-	Management Console		
🔴	-	-	-	Management Console		
🔴	-	-	-	Management Console	Kapplet_admin	
🔴	-	-	-	Management Console	kappletuser, Kapplet_admin	
🔴	-	-	-	Management Console	projectadmin, RPA Administrators	

アイコン名前	日時 ↓	状態	作成者
DS_wait	2022/08/09 17:54:47	✓	admin[internal]
エラーテスト	2022/08/09 14:04:00	🔴	admin[internal]
エラーテスト	2022/08/09 13:56:00	🔴	admin[internal]
エラーテスト	2022/08/09 13:49:00	🔴	admin[internal]

# v11.3.0.3の既知の事象 (8/11)

項番8 : Kappletsに登録していたスケジュールが参照できずエラーが表示される場合があります。  
エラーが発生した場合は、次頁以降の復旧手順を参照して復旧してください。



# v11.3.0.3の既知の事象 (9/11)

## 項番8 : 【復旧手順】

エラー発生条件<sup>(※)</sup>に一致しているスケジュールに登録しているKappletのコンテキストメニューより、「スケジュールを表示」をクリックします。

検索文字列にKapplet名が入力された状態でスケジュール画面に遷移し、該当のスケジュールが表示されます。  
この状態で次頁以降の復旧方法1または2どちらかの手順を実施してください。

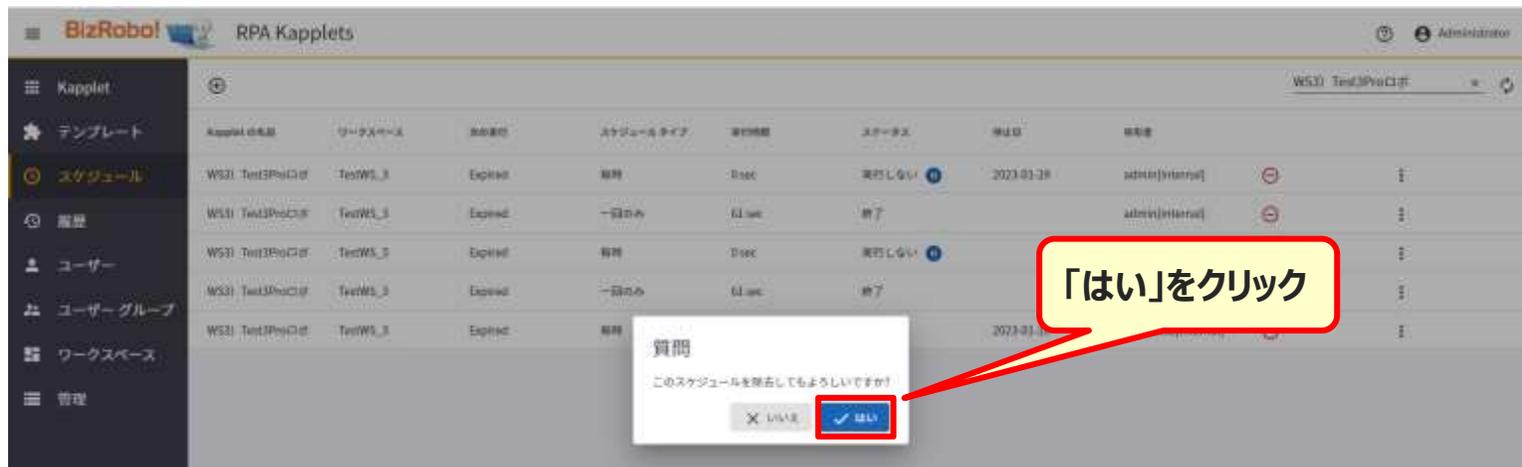
※詳細な発生条件はRPAT社のナレッジポータルに公開される情報をご参照ください。



# v11.3.0.3の既知の事象 (10/11)

## 項番8 : 【復旧手順】復旧方法 1

削除ボタンにて、該当のスケジュールを削除する。

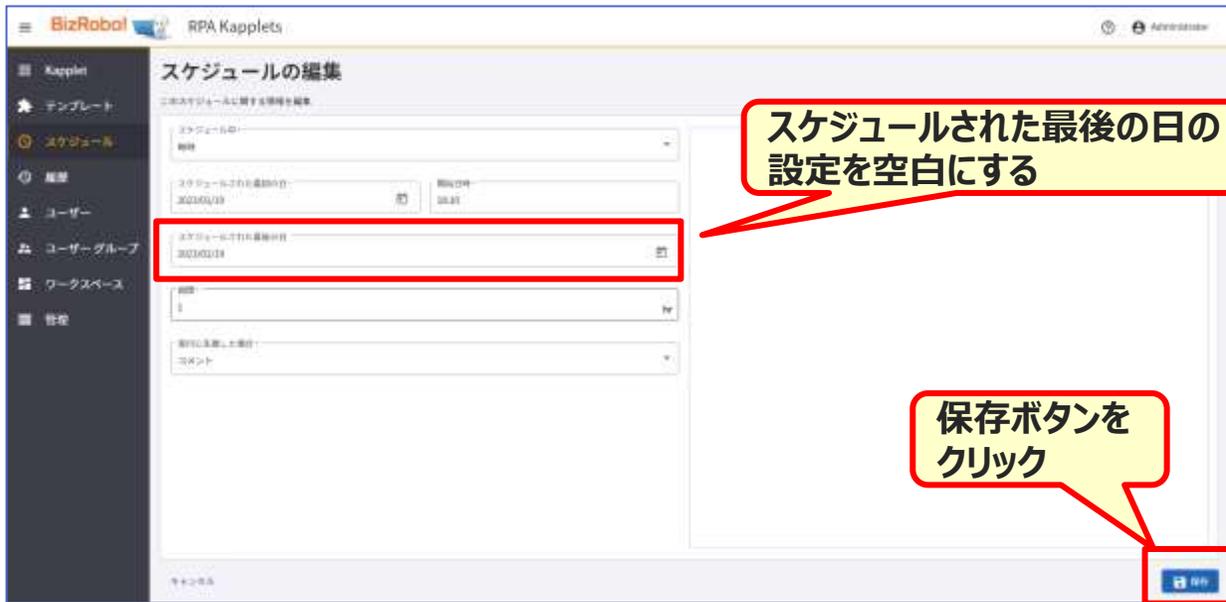


# v11.3.0.3の既知の事象 (11/11)

## 項番8 : 【復旧手順】復旧方法 2

スケジュールの編集で「スケジュールされた最後の日」を空白にする。

スケジュールを実行しない状態としておきたい場合は、スケジュールの一覧画面にてスケジュールを一時停止する。



SoftBank